

ふくしはなん

Vol.
161
2024年12月

社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会



Instagram



ホームページ

「楽しい発見があった！」 心に響くボランティア体験



阪南市社協では、小学校5年生以上の学生を対象に「2024夏休みボランティアDAY」を実施。心温まる活動を体験しました！



contents

食農漁福

F×F が“ツナガル”と楽しいことが生まれる etc…



▲なんと総勢222人の参加で大賑わい！

昔ながらのかき氷など工夫をこらしたおもてなし。

夢カフェ
子ども福祉委員会夢かなえ隊主催
15:00～15:00

子ども福祉委員会
夢かなえ隊による
『夢カフェ』
地域で子どもから高齢者まで楽しく交流できる場をつくるため、夢かなえ隊がはじめて主催し、『夢カフェ』を開催しました！
前もって、手づくりのチラシを、メンバーで手分けして桃の木台全戸（1500軒）に配布。小学校、中学校、桃の木台幼稚園、桃の木の森こども園、それぞれにも配布をお願いに行きました。
当日は、カフェ、抹茶、かき氷、駄菓子屋と各コーナーに分かれ、かなえ隊メンバーと卒業生メンバー計14人で運営。いずれも大好評でした。
「中学生がこんな活動を企画するなんてすごい」「ぜひ今後も頑張ってください」とうれしい反響が聞けました。



ふくしはなん Vol.161 2024年12月 発行：社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会

〒599-0201 阪南市尾崎町1-18-15 TEL：072-472-3333 FAX:072-471-7900
E-mail：h-shakyo@sbs3.so-net.ne.jp URL：http://www.hamanshi-shakyo.jp/

印刷：小笠原印刷株式会社





まちなかサロン・カフェの輪

「お変わりないですか」「あの人最近見かけないな…」
自然に見守り合う関係を育む、地域の居場所活動をご紹介します。

和泉鳥取台カフェ

和泉鳥取台住民センター

毎月第3木曜日
14:00～16:00

和泉鳥取台カフェ再始動!!

しばらく休止になっていた和泉鳥取台カフェですが、地域の民生委員さんが発起人となり、朝日地区福祉委員会からの支援や自治会の協力を得て、再始動することになりました。「同じ住宅地に住んでいてもなかなか会う機会がないけど、こういう場所があるとみんなに会えてうれしい!」と参加者の声。

和気あいあいとしたおしゃべりに、この日はお口の健康講座もあり、とても楽しいひと時でした。身近な居場所が地域の元気の源になっています!



集まるみなさんは、気さくで楽しい雰囲気がいっぱい。どなたでもすぐになじめそうな居場所です。



保健センター、地域包括支援センターより職員さんが来てくれました。

まちなかサロン・カフェ ネットワーク連絡会を開催しました

阪南市でサロンカフェの活動が始まり約10年、今では43カ所に広がりました。活動者も増え、運営などについて語り合う場として、連絡会を開催しました。

語ろう!
まちなか
サロンカフェ

今回は「語ろう! まちなかサロンカフェ」と題し、それぞれのサロンやカフェが行っている活動内容や課題についてじっくり話していただく機会となりました。集まってお茶を飲むだけではない「身近な居場所づくり」の意義って? ほかのサロンカフェは、どんな活動をしているの? 担い手の確保や参加者の発掘などこれからの活動への工夫や課題は? など、情報交換し、交流し、新たなつながりや連携の可能性を広げる貴重な時間となりました。

参加者からは「新しいアイデアが得られた」「若い世代を含めた全世代の交流の場にしていきたい」といった声が寄せられ、これからの活動の広がりが感じられる非常に有意義な会となりました。



小グループに分かれていろいろな課題なども話し合えました。



10月29日(火)、会場のサラダホール小ホールは活動者でいっぱい。

地域のサロンやカフェの活動者の方々を中心に、先日「まちなかサロン・カフェネットワーク連絡会」を開催しました。当初8月に予定していましたが台風の影響で延期となり、10月に開催を実現。楽しみにしていたく、楽しみの多かった方も多く、約40名の参加がありました。

期間:令和6年10月1日～12月31日

／ ほんのちょっとのキモチから ／ 赤い羽根共同募金にご協力お願いします

阪南市で集まった募金の約 7 割が阪南市内の身近な地域福祉推進のために
約3割は大阪府の広域的な福祉や被災地支援などに幅広く活用されます。

赤い羽根共同募金



●広域福祉事業

・府内の社会福祉施設などへ助成
(例)児童養護施設出身者のアフターケア事業

●災害等準備金

・災害時に被災地支援に活用
(例)令和6年度能登半島地震の災害ボランティア支援

●地域福祉事業

■身近な地域での地域福祉事業

・要配慮者を対象とした配食運動
・地域住民を対象としたモーニングカフェ
・一人暮らし高齢者食事会

■広報紙「ふくしはんなん」制作

■子育て支援事業
・「チャイルドライン」の周知啓発等

■子どもたちへの学習支援運営

・学校以外で安心できる居場所「波太学」

／ 共同募金を活用した阪南市内の地域活動を一部ご紹介 ／

／ ネットからも募金ができます ／



QRコードを読み取った後、寄付金額の選択をクリックしてください。

広報紙「ふくしはんなん」発行



地域みんなで育む「こどもの居場所づくり」



笑顔とともにお弁当を届ける「配食活動」

ボランティア通信 ちよっとボランティア

阪南市社協ボランティアセンターは
阪南市社協が運営する組織です。

第18回

ボランティア・市民活動
フェスティバル開催の
お知らせ



開催予定日

2025年3月8日(土)

詳細についてはHP、Instagram
などで随時ご案内します。楽しみに
お待ちください!

体験で実感

「ボランティアって楽しい!」

今年の「夏休みボランティアDAY」には、小中高生や大人まで28名が参加してくれました。この取り組みは、ボランティア活動を通して、子ども、障がい者、高齢者の方と交流することで、心の優しい大人に育ってほしいという思いで実施しています。



体験メニューは盛りだくさん。表紙にもボランティア活動や学びの様子を載せています。

地域のボランティアさんや子どもたちから笑顔をもったり、障がいのある方と一緒に絵を描くことで、その方の生きがいや強みを知ることでもできました。

最終日のふり振り返り会ときには「ボランティア活動を通して自分に自信が持てた」「自分自身が楽しくボランティアをすることが出来た」と、学生自身の心の変化もみられました。

学生たちの
アツ〜い夏!

7プログラム①



7プログラム②



F × F プロジェクト

FUKUSHI × Farm × Fishing × Food

漁業や農業、食と福祉が連携した“漁福連携”や“農福連携”など、お互いの強みを活かした、阪南市らしい取組みが広がっています。「みんながつながって楽しいことができればいいな」と、福祉×〇〇の“F×Fプロジェクト”を推進しています。

※この事業は、令和6年度の大阪府福祉基金地域福祉振興助成金の交付を受けて実施しています。

“地域食堂”に自ら参加協力する大学生や高校生。企業からの応援もあり、多様なヒトや団体がツナガル



福祉と漁業のツナガル 漁福連携

担い手不足など課題が多い漁業界。「一緒におもしろいことやろや」その一声で、ツナガリがツナガリを呼び、漁港を舞台に“福祉”と連携した取組みが広がっています。

車いすユーザーで口筆画家の石橋さん。「石橋さんに絵を描いてほしい」漁港でアートと障がい福祉がツナガル



学生ボランティアと地域の子どもたちが、漁港での夏まつりイベントでツナガル

Fishing 漁

漁港や釣りを活かした居場所



漁港の担い手不足に若者が大活躍。寄付つき商品「バリ旨わかめ」を商品化！泉南学寮グリーンサポーター（少年院のボランティア活動）と漁港がツナガル



多分野・多世代がツナガル

福祉と多分野の連携は、地域の産業の持続可能性や食文化の継承につながります。また、それぞれの分野における大きな課題のひとつである、担い手不足の解消にも貢献しています。

地域の「いいもの」がツナガリあうことで、よりよい暮らしが実現でき、まちづくりにもつながっていくことを確信しています。

FUKUSHI 福

福祉と食のツナガル 食福連携

“食べる”ということはすべての人々の関心事。個々の楽しみでもあり、人と人がツナガルきっかけにもなっています。

Food 食

食を活かした居場所



子どもを通して知り合いになるなど親同士もツナガル地域の居場所

住民からの寄贈による福祉農園。地元ボランティアと大学生たちが農作業をきっかけにツナガル

Farm 農

農

農園や収穫物を活かした居場所



担い手がいない田んぼでの米作り。「みんなでやるぞ〜」地域の親子が協力して田植え、若い力もツナガル

福祉と農業のツナガル 農福連携

地域の田んぼや畑を活かし、子ども、学生や少年院生、障がい者（児）、高齢者、みんなで土に触れることで生まれるツナガリ。子ども食堂や福祉施設、生活困窮者への食材支援にもつながっています。



誰でも参加OKやで〜

「こうやったらとれるよ」子どもたちも稲刈りできた！収穫祭でも世代を超えてツナガル



